

**教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(平成29年度分)**

**平成30年9月
豊山町教育委員会**

目 次

第一部 点検・評価制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
I 経緯	
II 点検・評価の対象	
III 点検・評価の方法	
第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価・・・・・・・・	2
I 教育委員会会議の開催と審議状況	
II 教育委員の活動状況	
第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価・・・・・・・・	3
I 生涯学習の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	3
II 家庭教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	8
III 学校教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	10
IV 文化財の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	20
V 芸術・文化の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	22
第四部 学識経験者による評価・・・・・・・・・・・・・・・・	24

第一部 点検・評価制度の概要

I 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、上記の法に基づく点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書をまとめることとする。

II 点検・評価の対象

平成29年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検・評価の方法

本町教育委員会は、平成29年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を「必要性」、「有効性」、「効率性」、「達成度」の4観点から下記評価基準によって自己点検・自己評価を行い、評価報告書にまとめ、平成30年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）」の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

（図表1 評価基準）

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

（参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄））

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）、教育委員会臨時会を0回（昨年度1回）開催した。会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、15件（昨年度19件）の議案を審議・可決したほか、51件（昨年度48件）の報告を受けた。

○ 詳細については、町のホームページで公開している。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、委員と事務局との意見交換を積極的に行った。

II 教育委員の活動状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

① 教育委員は、教育委員会議のほか、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。

ア 総合教育会議 1回（昨年度0回）

イ 学校訪問（1日訪問） 2校（昨年度2校）

ウ 町教育委員会学校訪問 2校（昨年度2校）

エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換） 3回（昨年度3回）

オ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等 4校（昨年度4校）

カ 視察研修 0回（昨年度0回）

キ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）

ク 愛日地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）

ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）

コ 西春日井地区教育委員会連絡協議会臨時総会 1回（昨年度1回）

サ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 2回（昨年度1回）

シ 西春日井地区教育委員会連絡協議会視察研修 0回（昨年度1回）

ス 豊山町教育委員会研修会 0回（昨年度0回）

【評価と課題・改善策】

教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換会議、現地視察等に参加して、幅広い視野から教育の在り方を検討した。

第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

I 生涯学習の分野

- 冊子『豊山町の生涯学習・平成 29 年度のまとめ』（以下『まとめ』と省略する）を参照

＜『まとめ』P8～10 参照＞

推進計画の期間 平成 22 年度から平成 31 年度までの 10 年間

テーマ「だれもが学び、学びをつなぐ、人が輝く生きがいタウン」

基本目標 1 「だれでもどこでも学ぶ意欲を育む生涯学習」と施策

- ① 学習機会を提供し、生涯学習を身近なものにします
- ② 家庭と地域が一体で豊かな心を育てます
- ③ 生涯学習施設などの有効な活用を進めます
- ④ 利用しやすい学習情報を提供します

基本目標 2 「ともに学び、伝え、交流を広げる生涯学習」と施策

- ① 生涯学習の担い手を広げます
- ② サークル活動を活性化します
- ③ 学習成果を活かす機会を広げ、学びを通して、交流活動を進めます

基本目標 3 「人が輝くまちづくりにつながる生涯学習」と施策

- ① 地域活動やボランティア活動を支援します
- ② 一人一人の活動がまちづくりにつながる意欲を育てます

5 年後の豊山町のめざす姿	子どもからお年寄りまで、誰もが一人一人のライフスタイルに応じて、生涯にわたっていつでも新しい知識を修得したり、学習やスポーツなどの活動を通じて余暇時間をいきいきと過ごすことができる環境を整えます。	総合評価	A
---------------	--	------	---

事業 1-1	生涯学習のまちづくりの計画的な推進	評価	A
目 標	社会経済の状況、地域での学習環境の変化、学習活動内容の多様化などに対応した生涯学習のまちづくりを一層推進するため、生涯学習基本構想・基本計画に基づき、計画的に生涯学習のまちづくりを推進する。		
実施状況と成果	<p>○ 教育分野・福祉分野・ボランティア分野の各代表と公募 2 名の合計 12 名を委員として、生涯学習推進審議会を毎年 3 回ずつ開催している。審議会では、まちづくりに向けた基本構想・基本計画の実施状況、生涯学習事業の進捗状況、基本構想実践に向けた進行管理を審議・精査し、効果的な事業展開に努めた。</p> <p>○ 現在、平成 22 年度からの豊山町第 4 次総合計画の基本構想（10 年間）の、平成 27 年度からの後期基本計画（5 年間）中であり、生涯学習による豊かな心を育むまちづくりをめざし、今年度も順調に推進している。</p>		

事業 1-2	学ぶ機会の充実	評価	S
目標	町民の主体的な参画や大学や企業との連携を一層強化し、体験型講座や地域に密着した学習メニューなど、町民のニーズに対応した学ぶ機会の拡充に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習講座内容の充実 <『まとめ』P11~17 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級、豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、パソコン講座、料理講座、親子パン講座、アレンジフラワー教室などの開講 <p>② 文化振興事業・サロンコンサートの開催 <『まとめ』P20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂木健一郎氏 講演会【前年比 65 人減】 ・気軽に楽しめる昼のミニコンサート「クラシック」の演奏 <p>③ 住民参画による生涯学習の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいひろば・放課後子ども教室・子ども会・スポーツ少年団などの活動に、文化協会や体育協会所属クラブやサークルなどの参画 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 講座がマンネリ化しないように、参加の意識やニーズについてアンケート調査を行うなどして事業の見直しを行った。特に、子育て支援も含めた幅広い分野での講座では、充実した活動が実施された。</p> <p>○ 文化振興事業は、公募によるサポーターとの協働により、企画段階から参画・運営まで自分たちで参加する事業として定着してきた。町民が気軽に文化・芸術にふれることができる貴重な機会となっている。</p>		

事業 1-3	学習活動支援の人的体制の整備	評価	B
目標	講師や指導者、ボランティアなど生涯学習に関わる人材を確保・育成するとともに、学習した知識や技術を活用する場の確保に向けた取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習ボランティアバンクの整備<『生きがいタウン』参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティアの募集と登録（7分野） 趣味（将棋・ビデオ編集・編み物・陶芸・茶道・理科工作など）、 家庭生活（美容・子育て）、教養（韓国語）、 体育レクリエーション健康（バウンドテニス・チェックボール・ミニソフトバレー・ウォーキング・ダンスなど）、伝承文化（太鼓・三味線）、 地域活動（生涯学習）、国際交流（交流活動） <p>② サークル登録制度とサークル活動の活性化 <『まとめ』P10 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会や体育協会に所属していないサークルやグループの登録 ・仲間作りと人材育成のサポートやその手伝い 太極拳（3団体）・スポーツ吹矢・アートフラワー 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ ボランティア登録の「ふれあいひろば」は順調に活用され、参加者も増加してきており、成果も多い。しかし、ボランティア登録の「一般」の分野では、ほぼ活用がなかった。</p> <p>○ サークル活動においては、登録募集の趣旨が十分に浸透していないため、登録団体は増えていない。また、受講生が講師になって講座を開設する構想も実現していない。サークル情報を提供する啓発活動と情報収集が必要であった。</p>		

事業 1-4	学習情報の提供と学習相談体制の整備	評価	A
目標	誰もが、いつでも、どこでも、必要な学習情報を的確に入手できる情報提供体制の充実を図る。また、生涯学習に関する相談窓口体制の構築など、生涯学習に関する情報提供、相談体制の機能の充実を行う。		
実施状況と成果	<p>① 情報提供体制の充実 <『まとめ』P22 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌『生きがいタウン』（4月号・9月号）年2回の発行 町ホームページに掲載し、学校・公共施設・コンビニなどで配布 ・毎月発行『広報とよやま』の「まなびすと」ページでの掲載 講座受講生の感想、キッズレポートでの子どもの声などでの啓発活動 ・生涯学習情報コーナーの設置（社会教育センター内） 国県市町村・大学などの発行するパンフレットなどの設置 <p>② 学習相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びネットあいちなど、インターネットサイトの活用による生涯学習相談 ・相談後の講師やサークルなどの紹介による情報の提供 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 生涯学習に関する情報提供については、広報・パンフレットなどの紙媒体だけでなく、ホームページなどの多様な通信媒体での情報提供を進めた。また、「とよやまみんなのチャンネル」で情報コーナーを設けて講座などを紹介して情報提供を行っているが、さらに、ホームページで『生きがいタウン』を検索しやすくする等の企画を進めていきたい。</p>		

事業 1-5	学習環境の整備と活用	評価	A
目標	社会教育センターやスポーツ施設のほか、学校体育施設や学習等供用施設の設備の充実、生涯学習以外の目的で設置された施設や設備の生涯学習活動での利用拡大を図る。特に、社会教育センターでは航空宇宙関連の図書コーナーを充実する。		
実施状況と成果	<p>① 施設予約システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる予約受付（平成22年度導入） 社会教育センター・豊山グラウンド・志水テニスコート・伊勢山スポーツ広場の利用者拡大と整備拡充 <p>② 社会教育施設の利便性向上 <『まとめ』P59・63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センターの利用状況（アリーナ・ホール・研修室など） 年 4,646 件利用【前年比 172 件減】 1日平均約 13 件 ・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の3施設） 年 4,894 件利用【前年比 65 件減】 1日平均約 13 件 <p>③ とよやまスカイプールの利用 <『まとめ』P65 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月1日（土）～9月10日（日）の70日間開場 合計入場者数 49,771 人【前年比 1,875 人増】 1日平均約 711 人 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ とよやまスカイプールの入場者数が年々増えてきている。</p> <p>○ 社会教育施設の利用者数は、改修工事のため若干減少した。社会教育センターでの航空宇宙関連の図書コーナーのさらなる充実が望まれる。</p>		

事業 1-6	読書活動の推進	評価	A
目 標	本に親しむ環境を整え、児童生徒に豊かな情操を育成する。社会教育センター図書室を中心に関係機関と連携を深めながら子ども読書活動推進計画の実践に努める。		
実施状況と成果	<p>① 社会教育センター図書室の利用状況 <『まとめ』P61 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数年 272 日【前年比 13 日減】、貸出冊数年合計 43,608 冊【前年比 196 冊減】 <p>② 豊山町子ども読書活動推進計画の実践 <『まとめ』P59~62 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町子ども読書活動推進委員会（年 3 回実施）の開催 利用者カード申請書の配布（新 1 年児童）、新刊図書のご案内配布、 学校図書館バーコード化への取組、読書活動の情報交換 ・親子読書会（年 4 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 大型紙芝居・ペープサート劇・手遊び・おもちゃ作りなど 参加者合計 76 人（1 回平均 19 人）【前年比 64 人減】 ・おはなし会（年 1 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ 参加者合計 150 人（月平均 13 人）【前年比 15 人増】 		
評価と課題 ・改善策	○ 平成 28 年 3 月に子ども読書活動推進計画（第二次）が策定され、読書活動を推進しているが、貸出冊数は減少している。少子化にもかかわらず、おはなし会や絵本読み聞かせ会については、地道に熱心に活動し、読書活動推進に貢献している。		

事業 1-7	社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進	評価	S
目 標	スポーツ推進委員・体育振興団体の活動を支援し、社会体育・生涯学習スポーツ事業を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 社会体育・生涯スポーツの振興 <『まとめ』P49~53 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児体操教室（2・3 歳児とその親）10 組、児童体操教室（小学 1～3 年）30 人、ノルディックウォーク教室（一般）合計 25 人、ビーチボール教室（一般）16 人、ダンス教室（一般）13 人、体力・運動能力測定会（一般）67 人、ニュースポーツ教室（一般）88 人、カローリング教室（一般）17 人、ミニソフトバレーボール教室（小学生と保護者）60 人 <p>② 第 46 回町民体育大会の開催 <『まとめ』P46・47 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 1 日（日）開催 参加者 2,300 人【前年比 100 人減】 <p>③ 第 12 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 月 2 日（土）開催 記録 16 町村中 13 位【前年 9 位】 <p>④ 第 10 回とよやまエアポートビューマラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 月 5 日（日）開催 出場者 871 人【前年比 76 人増】 		
評価と課題 ・改善策	○ 今後も、親子で参加する競技や高齢者向け競技の紹介を促進したり、各講座・教室の内容や時期回数の見直しをしたりして、多世代参加型の生涯スポーツ普及を推進する。		

	<p>○ 愛知駅伝の選手確保が課題である。「とよやま J R C」の活動を支援して選手を養成するとともに、スポーツ推進委員や体育協会の協力を得て候補者を発掘し、上位を維持したい。</p>
--	---

II 家庭教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	親子の対話やしつけなど家庭での親の役割が適切に発揮され、家族のふれあいが深まっています。また、学校と家庭、地域が一体となって子育ての支援や家庭教育を進めていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業2-1	家庭の教育力向上への支援	評価	A
目標	乳幼児学級や家族ふれあい事業、絵本の読み聞かせなど乳幼児を対象とした事業を推進するとともに、体験活動など親子の学習機会の充実を目指す。また、子育てサークルの支援や親同士の情報交換、交流機会の拡充により子育てネットワークの構築を図る。		
実施状況と成果	<p>① 乳幼児学級事業の開催 <『まとめ』P38 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族ふれあいコンサート年3回の開催 参加者数 合計63組・130人【前年比1組・10人減】 <p>② 家族ふれあい事業の推進 <『まとめ』P38 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新規) 親子料理教室(後期)、親子工作教室(後期) 参加者数合計27人【前年比5人増】 ・家族芸術劇場 演劇人 冒険舎「迷宮小学生」開催 入場者数 午前・午後の部合計81人【前年比7人減】 ・家庭教育講演会「読書でふくらむ子どもの夢」参加者51人【前年比16人増】 		
評価と課題・改善策	<p>○ 家族ふれあい事業については、本年度、新規内容として、親子料理教室と親子工作教室を実施した。興味を引く内容であり参加者が増加した。今後も、ワークショップなど、受講者参加型の導入を図っていきたい。</p> <p>○ 町保健センターや福祉課など子育てに携わる他部局と、相互に情報の共有・連携を深め、事業の充実に向けていきたい。</p>		

事業2-2	地域の教育力向上への支援	評価	A
目標	子育てや家庭教育に関する相談体制の充実や講演会の開催をはじめ、子どもが安心して安全に放課後活動に取り組める環境づくり、家庭教育事業への父親の参加促進など、地域で家庭教育を支える体制を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 放課後子ども教室事業の充実 <『まとめ』P29 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 豊山小学校児童1年生～3年生 登録57名(1年26名・2年16名・3年19名)【前年比19名増】 登録率29%【前年比9%増】 ・開催日 給食のある月・木曜日の下校～午後4時 延べ年74回 ・活動内容 学習・工作・読書・外遊び・地域住民による交流体験活動(三味線・絵本読み聞かせ・昔の遊び・ペープサート劇・卓球など) <p>② ふれあいひろば事業の充実 <『まとめ』P27・28 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合い言葉「子どもは地域で育てよう」 小中学生だけでなく、保護者や地域の大人も参加できる多世代参加型の文化・スポーツ教室 ・陶芸・茶道・太鼓・三味線・将棋・バウンドテニスなどの17種目 		

評価と課題 ・改善策	<p>○ 放課後子ども教室は、近年利用者が増えてきている。地域住民との交流が多く、地域住民と子どもたちが直接ふれあう貴重な機会となり、充実した活動を行うことができている。今後は、他の2校においての開設が課題である。</p> <p>○ ふれあいひろばは、土曜日の子どもの居場所づくりに大きく貢献している。保護者・祖父母も参加できる、多世代参加型の事業として充実した活動がなされ、事業は定着している。しかし、年々全体的に参加者の減少がみられるため、今後、内容の見直しが必要である。</p> <p>○ 「地域の子どもは地域で育てる」ためにも、地域住民が地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる、地域の教育力の向上が今後も求められている。</p>
---------------	---

事業2-3	子どもの豊かな心を育む学習支援	評価	A
目標	青少年健全育成団体のネットワークを強化する中で、青少年リーダーの発掘・養成を図るとともに、スポーツ少年団や子ども会の活性化、青少年健全育成のための諸活動の充実連携に努める。		
実施状況と 成果	<p>① 青少年育成団体による巡回指導事業 <『まとめ』P29～32 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動 ・夏季（計5回）延べ34人、冬季（計4回）延べ18人参加 ・巡回場所 各小中学校区、公共施設、エアポートウォーク、神明公園、コンビニ、夜間開催の三菱重工の夏祭り・とよやまDEないと会場 <p>② スポーツ少年団への支援 <『まとめ』P33～36 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の登録率22.9%【前年比2.1%減】 野球65人、サッカー63人、空手51人、卓球43人、バレーボール7人、剣道10人 合計239人【前年比16人減】 ・関市上之保地区スポーツ少年団（岐阜県奥山キャンプ場）との野外交流 2泊3日（キャンプファイヤー・魚のつかみ取り・炊飯など） 参加者89人【前年比11人減】 <p>③ 子ども会活動への支援 <『まとめ』P37 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール大会、カローリング交流会、どろんこ教室、子どものつどい、長野県阿智村交流、子ども会新聞発行への支援 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 学校・PTA・少年補導委員・町教育委員会の連携した事業の推進、及び、小中学校生徒指導推進協議会を中心とした生徒指導や情報交換の連携強化などの継続的取組の結果、非行防止をはじめ青少年の健全育成に繋がっている。</p> <p>○ スポーツ活動・清掃奉仕活動・他地域スポーツ少年団との交流活動などを通じて、小学生を中心に、体力づくり・スポーツ技能向上・児童生徒の健全育成に大きく寄与している。スポーツ少年団員や子ども会員が年々減少しているのが課題であるが、子ども会では、中学生のジュニアリーダー育成が順調に進んでいる。</p>		

III 学校教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	子どもたちが基本的な学力を身に付け、道徳教育や体験活動を通じて命と人権を大切にして、夢に向かってともに生きる心を育んでいます。また、教員は教育の専門家として自覚を高め、高い実践力と指導力を備えていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業3-1	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
目標	学校評議員や学校関係者評価委員による学校評価活動に保護者をはじめ地域住民の参画を促し、地域全体で学校経営を評価・改善していく取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会を年2回以上開催 <p>② 地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流 ・【豊山小】学校行事がある際は、学校評議員・安心クラブや地域の外部講師の方へも開催案内を出すなど、開かれた学校の推進 ・【新栄小】「地域の子どもは地域で育てる」開かれた学校の推進 マラソン大会などの学校行事に多くの保護者・地域の方々の参観 ・【志水小】地域のゲストティーチャーによる出前講座を積極的に活用、読み聞かせ・図書館環境整備に保護者・地域のボランティアが参加 ・【豊山中】「民生・児童委員と中学校との懇談会」での情報交換 		
評価と課題 ・改善策	○ 自己評価・学校関係者の評価結果と公表により、説明責任を果たすことができた。保護者や地域住民の理解と参画を得て、学校・家庭・地域との連携・協力により、地域に開かれた学校経営を推進することができ、組織的・継続的に学校改善が図られた。		

事業3-2	学習指導・教育環境の整備拡充	評価	B
目標	全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める。また、将来的な建替えも含めた改修計画を策定し、防犯性・教育環境の向上、情報教育への対応のための施設・設備の整備・改善を進める。		
実施状況と成果	<p>○ 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】体育館（講堂）天井の耐震対策は完了済み ・【豊山小】職員室空調機取替工事、高圧ケーブル取替工事、トイレ等改修工事、教室改修工事 ・【新栄小】プール補修工事、複合遊具等補修工事、4階ベランダシーリング工事 ・【志水小】プール補修工事、プールシャワー通路等補修工事、図書室空調機新設工事、キュービクル改修工事、遊具基礎ゴムチップ舗装工事 ・【豊山中】プール補修工事 		

評価と課題 ・改善策	○ 各校とも校舎の老朽化が進行しているため、安全な学習の場・快適な学習環境の場の提供が求められている。将来的な建て替えも含めた、整備・改善に係る大規模な改修計画については取組み中である。
---------------	---

事業3-3	特色ある学校教育の推進	評価	S
目標	子どもの基礎学力の向上や豊かな心を育てる特色ある学習活動や教育活動を実践する。外部講師の招へいや学校行事への地域住民の積極的な参加を促すなど、地域や企業・事業所等との連携による開かれた教育活動を推進する。		
実施状況と成果	<p>○ 特色ある教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】あいち航空ミュージアム内覧会見学（6年生） ・【豊山小】茶道教室（6年生）、福祉施設「しいの木」「しらゆりの里」訪問（5年生）、和太鼓教室（4年生）、どじょう寿司を味わう会（3年生）動物ふれあい教室（1年生）、 ・【新栄小】一輪車検定・運動会ダンス・親子音楽鑑賞会（全児童）、空港イベント事業「空の日」に合唱隊・スクールバンド部参加（高学年）、魚の捌き方教室・抹茶を味わう会（6年生）、大山川水生生物調査（5年生）、どじょう寿司を味わう会・和太鼓の体験（3年生）、サツマイモ堀り・タマネギ収穫（2年生）、うどん打ち体験（特別支援学級） ・【志水小】アルミ缶・エコキャップ回収活動・音楽鑑賞会（全児童）、北部市場による「魚大好き命の講座」（5年生）、和太鼓出前講座（4年生）、どじょう寿司を味わう会（3年生） ・【豊山中】長野県治部坂高原スキー場でのスキー体験、星空観察（1年生） 		
評価と課題 ・改善策	○ 各校では、外部講師や地域住民の意欲的な参加による多種多様な特色ある教育活動が定着してきた。特に、中学生のスキー研修は、他市町にはない魅力ある校外体験宿泊事業であり好評を得ている。また、小学校においても空港の町としての地元の特色を生かした活動を積極的に取入れ、開かれた教育活動を推進している。		

事業3-4	健やかな児童生徒の育成	評価	S
目標	児童生徒が健康で安心して義務教育を受けられるよう、食生活の指導や健康診断の実施、心理カウンセラーによる相談事業など児童生徒の心身にわたる健康の維持・増進を図ります。登下校時の安全対策や不審者対策など安全体制の確立、特別な支援教育を要する児童生徒への支援・指導を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>② 各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」の実施（5年目）、毎月1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組、「生活チェックカード」「元気アップカード」の活用など ・【豊山小】全国歯みがき大会に参加することで、生涯にわたり自分の健康を保 		

	<p>持・増進する児童の育成（5年生）、すこやか集会を年2回実施、とよやま健康マイレージに参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】「薬物乱用防止教室」「WYSH教育」の開催 <p>③ 安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】自転車での交通安全教室の実施（3年生） ・【豊山中】「地域の方（保護司）のお話を聞く会」の開催 ・【3小学校・保護者】安全教室（特定非営利活動法人あいちCAPプラス） <p>④ 通学路点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町教育委員会、町建設課、町防災安全課、西枇杷島警察署による3小学校の町合同通学路点検を実施し、通学路のカラー塗装などの要望を行った。 <p>⑤ 町支援員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山小2名（介助・特支）、志水小1名（特支）、豊山中2名（介助、通訳（志水小と兼務）） ・町採用スクールカウンセラー3名（豊山小、志水小、新栄小）
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体による年間を見とおした計画的な実践により、児童生徒の健全育成が図られ、落ち着いた学校生活に繋がっている。 ○ 町合同通学路点検、及び、地道な交通安全指導により、交通安全体制の充実を図ることができ、児童生徒の大きな交通事故はなかった。 ○ スクールカウンセラーの加配により相談事業が充実するとともに、小中連携の環境整備を進めた。

事業3-5	安全で安心できる学校給食の提供	評価	A
目標	給食センターの施設設備や新たな調理システムの導入に向けた調査研究を行うなど、学校給食体制を充実し、食の安全確保や食育の取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 給食センター運営・献立委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの建て替えに関する調査研究 ・給食センターの業務や献立についての調査研究と審議 <p>② 食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】どじょう寿司を味わう会：町おこしの会（3年生） ・【新栄小】魚の捌き方教室：北部市場（6年生）、抹茶を味わう会：個人（6年生） ・【志水小】五平餅づくり：出前講座 東邦ガス（5年生）、豆腐づくり：出前講座 JA尾張中央（5年生）、魚大好き命の講座：北部市場（5年生） <p>③ 食の安全講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】食物アレルギー児童の保護者との面談（4月当初・1年生） ・【3小学校】エピペン研修会（対処法）へ参加 ・【全小中学校】食（食中毒防止）の安全講習会 年1回開催、対象者 調理員・配膳員・栄養教諭・用務員・学校給食主任など 		
評価と課題 ・改善策	○ 食育に地域の特色を活用した取組が増えてきており、食育の充実が図られている。		

	○ エピペン対処の児童生徒が年々増えてきており、食物アレルギーへの対応には給食センターと協力し合い、事故のないよう万全を期している。給食では異物混入のないよう常に細心の注意を払って日々取り組んでいる。
--	--

事業3-6	教員の資質向上	評価	A
目標	町内小中学校における授業研究を中心とする校内現職教育を進め、教員の資質向上（教師力向上）をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】「確かな学力を育む指導法の工夫」 －算数の授業を中心にした実践を通して－ ・【新栄小】「言葉の力を身に付け、よりよく生きようとする児童の育成」 －対話を通して考えを深めることのできる児童の育成－ ・【志水小】「深く考え、判断し、自分のことばで表現できる児童の育成」 －伝え合い、学び合う活動を通して－ ・【豊山中】「豊かな心を持ち、生き生きと活動する生徒の育成」 －心に響く道徳の授業を通して－ <p>② 第11回豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県立大学 外国語学部 准教授 池田 周 先生を招聘し、町内全教員参加の研修会、豊山中学校1年生での師範授業と講演「次期学習指導要領における小・中・高等学校を通じた外国語教育の方向性」の実施。 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 授業力向上は教員の最優先事項である。各校では現職教育の研究テーマのもと校内研修を深めている。</p> <p>○ 毎年実施している町内全教員が参加する夏季研究協議会は、町独自の熱心な取組である。今年度より英語教育を取り上げ、特に小学校においては、町研修会の講師に校内研修にも参加していただき、大変有効な研修になった。</p>		

事業3-7	魅力ある教員の養成	評価	A
目標	経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、若手教員を確実に育成する。		
実施状況と成果	<p>① 経験や職務内容に即した研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生徒指導など、実践的指導力の向上（初任者研修・少経験者研修） ・専門職としての資質能力の向上 養護教諭・特別支援学級担任・事務主任・保健主事・生徒指導主任など ・【豊山小】ベテラン教師によるスキルアップ研修の実施 <p>② 町講師研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町採用非常勤講師（14名）を対象に、年4回の研修会の実施 教員としての心構え、研究テーマ設定後の『実践報告書』の作成 授業研究会の後、『実践報告書』をもとに研究協議会の開催 <p>③ 不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・暴言、セクハラ・わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反の防止 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小・新栄小】不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組 ・【豊山中】「コーチング」学習会の開催
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町講師対象の研修会は、実践的内容で若手教員の育成に効果的である。 ○ 教員の大量退職・大量採用が続き、若手教員が年々増加している。「教育は人なり」である。若手教員に教師力・人間力を確実に育成したい。どの学校も、若手教員とミドルリーダーの育成にOJTを取り入れた研修を行っている。特に近年は不祥事防止に向けた研修に力を入れている。

事業3-8	校務支援の推進	評価	B
目標	会議等の削減、組織の効率化を図り、校務処理のIT化・共同実施化を推進し、教職員の負担を軽減する。		
実施状況と成果	<p>① 会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー上での「C4th会議室」活用の推進 ペーパーレスの導入、企画委員会や朝の打ち合わせの廃止・精選 ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の取組 ・【豊山小】会議資料の電子化の推進、「連絡掲示板」の活用、「部活なしデー」・定時退校日の設定 ・【新栄小】電子黒板や教材提示装置などの機器を活用した授業の展開 「C4th連絡掲示板」の活用、「定時退校日」の設定、部活動終了時刻の見直し、部活動なし週間の設定 ・【志水小】ペーパーレスへの取組、「リフレッシュデー」「部活なし期間」の設定 ・【豊山中】打合せ・会議の精選、「定時退校日」「部活なしデー」の設定 <p>② 学校事務の共同実施化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C4thの活用による事務処理の効率化・適正化 子どもと向き合う時間の確保に向けて、サーバー上でやりとりの実践 ・豊山町共同実施組織としての事務処理 事務職員のOJTの推進 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県の働き方改革の方針のもとに、教職員の多忙化解消のため、「会議の持ち方の改善」「定時退校日の設定」「部活の休養日の設定」などの教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを推進している。 		

事業3-9	教員に対する支援チームの結成	評価	A
目標	保護者・地域からの要望には学校全体で対処し、その解決に全力を尽くす。状況に応じて関係機関との連携を図る。		
実施状況と成果	<p>① 教員を支えるサポート組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域からの苦情には教員一人で悩まず、学校全体で対処し、スクールカウンセラーやPTAを含む全校でのサポート態勢の確立 ・関係諸機関との連携・活用を積極的に図る。 <p>② 外部ボランティアやゲストティーチャーによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】地域住民による絵本の読み聞かせ・ペープサート劇鑑賞、老人ク 		

	<p>ラブによる登下校見守り隊など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】 どじょう寿司を味わう会、「おやじの会」のボランティア活動 ・【志水小】もちつき会、「おやじの会」のボランティア活動 <p>③ 企業・事務所との連携による支援（キャリア教育と兼ねる）</p>
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部のボランティアや講師の協力的な支援は、多種にわたっている。近年は、登下校見守り隊や関係諸機関との連携の重要性が増している。 ○ 地域と学校の連携・協働の下、幅広く地域住民が参画し、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を今後も進めていきたい。身近な地域の学校を核に、地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後もさらに進めていくことが求められる。

事業3-10	キャリア教育の確立	評価	A
目標	キャリア教育の充実に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた勤労観や職業観を育成する。		
実施状況と成果	<p>① キャリア教育に関わる出前講座の活用【3小学校の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 地元農家による「さつまいも掘り・タマネギ収穫」 ・3・4年生 地元農家による「農家の仕事を聞く会」「タマネギ収穫体験」 ・5年生 名古屋市中央卸売市場北部市場による「魚食文化を学ぶ・命の講座」 県職業能力開発協会による「ものづくり（左官・大工）出前講座」 地元音楽関係者による「いろはに邦楽」 航空会社の現役パイロット・客室乗務員による「FDA航空教室」 航空機製造会社による「MR J出前教室」 ・6年生 名古屋市中央卸売市場北部市場による「魚の捌き方教室」 地元業者・ものづくりマイスターによる「和菓子づくり講座」 愛知県建設部による「まちづくり出前講座」 あいち航空ミュージアムの見学 ・特別支援学級 地元業者による「うどん打ち体験教室」 ・【豊山・【豊山小】会小】キャリアスクールプロジェクト（県委託事業） 体験活動…「社会人に学ぶ」（救急救命士・警察官・理容師・調理師）、 「職場体験学習」（愛知県防災航空隊）、「JAXA講演会」 伝える場…5・6年生合同体験学習発表会 <p>② 職場体験学習・進路学習の実施【豊山中の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 町役場・「しいの木」・保健センター・保育園・幼稚園をはじめ、41か所の公共施設・福祉施設・商業施設で職場体験 ・2年生 高等学校20校への「上級学校（高校）訪問」、「生き方を学ぶ会」の開催 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では出前講座により、中学校では職場体験学習により、職業観を育成するキャリア教育が推進された。特に、空港や航空機産業についての学習は、地元豊山町の将来を見据えた大切なキャリア教育教材である。 ○ 今後も、地域の人材や施設を積極的に活用し、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の 		

	育成を進めていきたい。
--	-------------

事業3-11	英語教育と小学校外国語活動の推進	評価	A
目標	小学校からの英語教育を充実させ、効果的な実施を進める。異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際性を育むために、国際理解教育の充実を図る。		
実施状況と成果	<p>① ALT（外国語指導助手）の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTと担任とのTT（ティーム・ティーチング）による英語教育の推進 小学1年生からの英語によるコミュニケーション能力の育成 1・2年生「国語や生活科」年3時間、3・4年生「総合」年9～10時間の実施 <p>② 校内現職教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTと担任とのTTによる小学校外国語活動授業研究の実践 ALTを講師として、語学力の向上に努めた英語教育研修会の開催 町夏季研修会への参加と校内現職研修への町夏季研修会の講師の活用 <p>③ 国際理解教室の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 【志水小】外国の異なる文化や生活習慣を知ろうとする態度の育成 <p>④ 英会話への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 【志水小】奈良京都の修学旅行先で外国人にインタビュー（6年生） 【豊山中】英語オーラルインタープリテーションコンテスト優勝、英語朗読コンテスト優秀賞（英語部） 		
評価と課題 ・改善策	○ 小学校では、平成30年度からの移行期間を経て「外国語（英語）」が教科となる。平成32年度完全実施に向けて、「英語」授業時間数の確保と、教員の指導力を高める「英語」研修の推進を図っている。また、小中連携については今後の課題である。		

事業3-12	情報教育の推進	評価	A
目標	ICT機器を活用し、児童生徒に情報活用能力や情報モラルを育成する。		
実施状況と成果	<p>① ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 【3小学校】ICT機器の効果的な活用を現職教育のテーマに導入 デジタル教科書や書画カメラの活用、効果的で分かりやすい教材提示の工夫、ICT機器を取り入れた授業の質の向上 【豊山中】社会科・体育・美術の授業での効果的な活用（写真・動画など） <p>② 情報モラル育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 【全小中学校】保護者参加の「携帯スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向け資料『ネットトラブルから子どもを守るために』の活用 【新栄小】「eネット安心講座」（6年生と保護者） 【志水小】「情報モラル教室」（3・4・5・6年生と保護者） 【豊山中】技術・家庭科の授業を核とした、タブレットPCの活用、コンピュータやSNSで入手した情報の適切な活用能力の育成 		

評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能を定着させることができ、情報活用能力の育成に寄与することができた。小中学校では、タブレットPCの活用を進めている。 ○ 情報モラルの育成は、生徒指導面だけでなく、家庭・学校生活全般からも児童生徒及び保護者にとって必要不可欠な課題である。
---------------	--

事業3-13	就学援助の充実	評価	A
目標	児童生徒の教育機会を保障するため、保護者に対して経済的な援助を行う。		
実施状況と成果	<p>① 就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助法に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・経済的な負担軽減のための特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者 <p>② 教育振興事業による援助（全児童生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の副読本、夏休み冬休みの日誌、知能検査、学力検査（CRT） <p>③ 準要保護者への就学援助費・奨励費の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・修学旅行費・学校給食費の支給 		
評価と課題 ・改善策	○ 就学援助を必要とする保護者に、就学支援制度の周知を積極的に図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学支援を充実させることができた。		

事業3-14	道徳教育の推進	評価	A
目標	これまでの道徳教育や体験活動の在り方を見直し、地域共同体の中において地域の人材による学校支援ボランティアを活用し、豊かな心を育成する観点を一層重視する。		
実施状況と成果	<p>① 挨拶・ふれあいでの交流【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>② 読み聞かせの実施【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域ボランティアによる本の読み聞かせを定期的に実施 本への興味・関心を高め、読書習慣の育成と定着化 <p>③ 地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】親子除草作業などでの交流、和太鼓教室、読書クラブボランティアによるペーパーサート鑑賞とふれあい給食 ・【豊山小】木遣りを聴く会、神楽を学ぼう、どじょう寿司を味わう会 ・【新栄小】木遣りを聴く会、どじょう寿司を味わう会、和太鼓体験、運動会ダンスでの交流、バラの剪定指導、昔のくらしのお話 ・【志水小】昔の遊び指導、フラダンス指導 ・【豊山中】町主催の健康フェスティバルや防災訓練での交流 		
評価と課題 ・改善策	○ 多くの地域の学校支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。道徳教育の推進には、地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていくことが大切である。		

	○ 「道徳」は小学校では平成 30 年度から、中学校では平成 31 年度から「特別の教科」になる。評価を含めた現職教育の推進を図っている。
--	---

事業 3-15	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	S
目 標	体力向上に向けた取組を学校体制で実施する。部活動や対外活動を支援するための外部指導員を拡充する。		
実施状況と成果	<p>① 体力づくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】クラス対抗長なわとび（年2回）・なかよく運動大作戦への取組 ・【新栄小】一輪車・なわとび運動・マラソン運動への積極的な取組 ・【志水小】なわとび運動・志水っ子ランニング <p>② 小学校での水泳教室【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の「水泳教室」（15m泳げない児童を対象）による成果 <p>③ 部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【中学校】＜豊山中学校の地区大会・愛日大会・県大会の主な結果＞ 女子卓球部（地区団体優勝・愛日2位・県大会出場） 男子卓球部（地区団体優勝）、女子バレー部（地区2位） 女子バスケット部（地区3位）、男子バレー部（地区3位） 女子ソフトボール部（地区3位）、男子ソフトテニス部（地区3位） <p>④ 部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】外部指導員による部活動支援（バトン部） ・【豊山中】外部指導員による部活動支援（野球部・ソフトボール部） 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 体力向上に熱心な取組の結果、小中学校とも部活動ではよく健闘した。</p> <p>○ 今後は、外部指導者の拡充が必要になり、少経験者教員の増加する現状も合わせて、部活指導の意義や指導方法について、指導者の資質向上を図る研修の実施が必要である。</p>		

事業 3-16	いじめ・不登校への対応	評価	A
目 標	いじめを許さない学級・学校づくりを進める。スクールカウンセラーや専門家による学校支援の充実を図る。適応指導教室においては学校への復帰をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 学校いじめ防止基本方針の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」ことの共通認識 ・校内いじめ防止（不登校）対策委員会を毎月1回開催 <p>② 町いじめ問題等（不登校）対策委員会の開催（年6回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任・スクールカウンセラー・適応指導教室担当・県家庭教育コーディネーター・担当校校長・教頭の参加による情報交換と指導 ・「いじめに関するアンケート調査」（年3回・無記名式）の実施 ・町作成の保護者向け啓発資料リーフレット（携帯・スマホ含む） 『ネットトラブルから子どもを守るために』の配布と効果的な活用 <p>③ 町適応指導教室「しいのき」の取組（中学生の入室5名）</p>		

	・学校への復帰をめざした入室生徒の学習支援や社会適応への取組
評価と課題 ・改善策	○ いじめを許さない全校態勢での取組の結果、継続した悪質ないじめはないが、年30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、依然多い状況にある。 ○ 町適応指導教室においては、生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画されており、生徒が安心できる心の居場所としての存在価値は高く、その活用も図られている。

事業3-17	生徒指導の充実	評価	A
目標	非行問題行動等に対しては生徒指導研修を充実するとともに、警察等町内外の学校関係機関と連携し、問題の早期発見と早期解決に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生徒指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い）の徹底と定着化への取組 <p>② 教育相談の充実（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回、教育相談を行い、児童生徒の実態把握に努め、不登校や問題行動の未然防止と、問題の早期発見と早期解決への取組 ・児童生徒の心の居場所となるような学級・学校づくりに努め、児童生徒・保護者との信頼関係の構築 ・ケース検討会（カウンセラーも含める）による情報の共有化 ・スクールカウンセラーとの連携の強化、家庭の心の問題にも対応 <p>③ 学校関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町教育委員会・町福祉課・町保健センター・町適応指導教室「しいの木」・中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、未然・再発防止、早期発見と解決への取組 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察・児童相談所に直接関わった検挙・補導・非行の問題行動はないが、警察等と積極的に情報交換を行っている。 ○ 青少年育成会議による巡回指導がほぼ定着し、地道で継続的な取組の成果が出ている。今後も、巡回パトロールの実施や自主防災パトロール隊との連携を深めながら、非行問題行動のない安心・安全なまちづくりの維持・継続に努めていきたい。 		

IV 文化財の分野

5年後の豊山町のめざす姿	文化財保護の意識が浸透し、町民と行政が協働で保護に向けて取り組んでおり、郷土の文化財が身近なものとして町民に親しまれるよう、広く活用していきます。	総合評価	A
--------------	---	------	---

事業4-1	文化財の調査・保護	評価	A
目標	文化財の調査・研究に努めるとともに、民具などの郷土資料の収集を行うほか、既存の県・町指定文化財の保護に努める。		
実施状況と成果	<p>① 文化財保護審議会の開催 <『まとめ』P66 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町の文化財保護事業に関する点検と評価を年1回開催 <p>② 指定文化財の保護・保存 <『まとめ』P66 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵） <p>③ 郷土資料の収集と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに企画・特別展の開催、時節パネルによる掲示 ・郷土資料室の所蔵している民具などの紹介と啓発 ・毎月発行している図書室だより『書窓』に「郷土資料室のページ」の掲載 		
評価と課題・改善策	○ 文化財保護審議会を中心に適切に点検・評価を行い、県・町指定文化財の保護・保存活動を推進した。		

事業4-2	文化財保護意識の醸成と担い手の育成	評価	A
目標	文化財マップの作成や文化財研究会との連携を通じて、町民の文化財保護意識の醸成を図り、文化財保護を担う人材を育成する。		
実施状況と成果	<p>① 文化財マップ作成と啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究会が作成した『とよやま文化財まっぷ』の配布と活用 ・身近にある郷土の文化財に気付き、その保護に努める意識の醸成 <p>② 歴史講座の開催 <『まとめ』P66 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「郷土の歴史を巡る・『西春日井郡誌』に見る明治・大正の豊山」（年5回）参加者16人【前年比3人減】 <p>③ 文化財研究会の活動と支援事業 <『まとめ』P67・68 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会、郷土資料室整理などの活動、放課後子ども教室との交流 ・現地研修会（行基寺、お千代保稲荷、名古屋ボストン美術館、萬松寺・常安寺）や学習会（郷土料理・切り寿し、蛇池にまつわる歴史を学ぶ）の実施 		
評価と課題・改善策	<p>○ 文化財研究会による研修会・学習会の開催や特色ある諸活動など、精力的な取り組みにより、文化財保護意識の醸成に大いに寄与した。</p> <p>○ 『とよやま文化財まっぷ』は、郷土愛を育むためにも大切な教材である。文化財保護を担う若い世代の人材育成のためにも、指導できる教員の育成と、小中学校での社会科授業での効果的な活用が望まれる。</p>		

事業 4-3	文化財資料の活用促進	評価	B
目 標	郷土資料室での郷土資料の展示方法を継続的に改善・充実するとともに、学校教育でも効果的に活用するなど、魅力ある地域社会の創造に向けて郷土資料を有効に活用する。		
実施状況と成果	<p>① 郷土資料室の整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の展示（豊山の歴史・民俗） 民家の再現・出土品・古地図・農具・民具・竹細工などの展示 ・文化財アドバイザーによる小学生の社会科見学への説明 <p>② 郷土資料室展示方法の改善事業 <『まとめ』P66 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに企画展・特別展の開催 特別展示コーナー「ことわざを見よう - ことわざになった道具たち -」「豊山のむかし」の展示 ・季節や目的を絞った展示会、時節パネル『催時季』の掲示 郷土文化（昔の正月・節分・お雛さま・田植え・お祭りなど）の掲示 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土資料室では、資料収集・整理・展示などが適切に行われており、郷土の歴史や先人の営みなどに触れるよい機会となっている。そして、歴史・文化への探求心や郷土愛の形成にも繋がり、来場者の見学後の感想は好評であった。 ○ 展示品は、実際に使用されていた昔の地元の郷土資料品ばかりである。教職員や児童生徒に見学をさらに呼びかけ、郷土学習の現存する貴重な教材として、学校教育でもさらに積極的に活用してほしい。 		

V 芸術・文化の分野

5年後の豊山町のめざす姿	芸術・文化によって、町民の豊かな心が養われ、地域社会に潤いをもたらされます。また、指導者の発掘育成や練習場所、発表機会の充実により、自主的な活動を活発に行っていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業5-1	芸術・文化活動の推進	評価	S
目標	文化振興事業やサロンコンサートを行い、町民に多くの優れた芸術・文化に触れる機会を提供する。また、町文化協会と協力して町民が自主的に行う文化活動を支援し、活動成果を発表する機会を提供する。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興事業の推進 <『まとめ』P20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「茂木健一郎氏 講演会」入場者数 277 人【前年比 65 人減】 文化振興事業サポーター（公募 8 人）による企画・運営段階からの参画 <p>② サロンコンサート事業の開催 <『まとめ』P20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月「チェロとピアノの名曲コンサート」入場者数 44 人、9月「ソプラノで綴る名曲のひと時」入場者数 43 人、1月「年始のひとときを美しいピアノで」入場者数 27 人、3月「焼き芋のようにホクホクとした心温まる歌を届けます」入場者数 40 人（年 4 回開催）【前年比 33 人減】 <p>③ 文化展・芸能発表会の支援事業 <『まとめ』P41 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能クラブ 16 団体が出演 総出品数 718 点【前年比 47 点減】 		
評価と課題・改善策	○ 公募のサポーターによる企画段階から参画・運営の文化振興事業コンサートの開催を始め、町民の自主的な運営による文化展や芸能発表会、文化フォーラムでの盛会は、芸術・文化による潤いのあるまちづくりの振興に大いに貢献している。		

事業5-2	文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援	評価	A
目標	町民自らが自由にあらゆる場所、あらゆる機会を利用して芸術・文化活動を行うことができるよう、町文化協会の活動を支援するとともに、芸術・文化グループなどの育成と支援を行う。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興団体の活動と支援事業 <『まとめ』P41～45 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会への助成支援（機関紙『ふれあい』発行など） ・加盟団体（32 クラブ・合計 386 人）の活動 16 芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・やまびこクラブなど） 16 文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・読書クラブ・豊山俳句クラブ・書道クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブなど） ・小中学校 P T A サークル活動への支援 <『まとめ』P45 参照> <p>② 文化施設の整備 <『まとめ』P59～65 参照></p>		

評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none">○ 文化振興団体への支援事業は豊山町ならではの伝統ある質の高いきめ細かな文化活動である。○ 文化協会会員の高齢化に伴い、会員数が減少している。とよやまチャンネルなどのメディアを活用して加入促進を図っていく必要がある。
---------------	---

第四部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

丹羽孝之	前 豊山町立志水小学校長
後藤孝文	岐阜聖徳学園大学非常勤講師

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	平成30年7月23日（月）	14:00～16:30
第2回外部評価委員会	平成30年8月20日（月）	14:00～15:00

1 丹羽孝之委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 国・県の様々な教育施策の改正、改革が進められる中、適正な組織・計画のもと、実効性のある審議等が行われ、教育行政が確実に進められている。

II 教育委員会の活動状況

- 教育委員による小中学校現場の諸行事等、教育活動の視察・指導、各校長との合同会議での意見交換など、子どもたちを大切にそして教育現場を大切にされた心の通い合う活動は大変評価したい。
- 教育行政に求められる時代の要請を的確にとらえ、様々な検討、対応がなされている。今後も一層研修等も行われながら、そうした対応が柔軟かつ適切になされるよう期待したい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 公募による一般住民の代表も加わり、関係分野の代表とともに生涯学習推進審議会が組織され、そこを核として計画が順調に進められているのは素晴らしい。今後も豊山町ならではの温かなまちづくりが一層展開されていかれることを期待したい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 公募による住民（文化振興事業サポーター）を活用するとともに、町民のニーズ把握のためのアンケートの結果も踏まえながら事業の見直しをされ、大きな成果をあげられたのは素晴らしい。今後もそうした活動の点検を随時行いながら充実を図っていかれたい。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- 「とよやまみんなのチャンネル」を活用して、参加者の呼びかけとともに、指導者・取りまとめ役等の方々のインタビューを実施し、その楽しさ、やりがい等をお話しされてはどうか。また、「豊山町まちづくりサポーター」の活用を考えてみてもよいのではないかと。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 情報誌「生きがいタウン」の町HPへの掲載、「とよやまみんなのチャンネル」での講座紹介など、情報提供の改善が精力的に進められていることを評価したい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 町民にとっての利便性を考慮されながら整備が図られ、成果をあげられている。図書館の航空宇宙図書コーナーは、館内に関連するデコレーションもされながら、夢が広がるような絵本や入門書を並べるといった特色ある展示を考えられてはどうか。

事業1-6 読書活動の推進

- 昨今の文字離れ、本離れの風潮の中、親子読書会やおはなし会など、地道に読書活動推進に取り組み成果を上げているのは素晴らしい。小さな子どもたちは「お話」を観たり聞いたりするのが大好きで、感受性豊かな子どもたちのこうした体験は、今後にもつながるとても大切なものであると考えます。活動の一層の広がりを期待したい。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 小さな頃から楽しくスポーツに親しむ空気が町にあり、素晴らしい。長年にわたる関係各位のご支援・ご協力の賜物であると思う。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 昨今の少子化や核家族化等に伴う子育て支援・子育てネットワークの重要性は増すばかりである。関係部局とも緊密な連携を図られ、継続して質の高い事業を進めていただけたらと思う。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 合い言葉「子どもは地域で育てよう」のとおり、行政が調整役となって、多くの方々が様々な場面で町子どもたちと関わり、交流されるための環境づくりに努められているのは、本当に素晴らしい。町の状況、町民の要望を的確にとらえながら、一層の拡大につなげていただきたい。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 本事業も「子どもは地域で育てよう」を具現化するような町民ぐるみの取り組みが様々な展開され、大きな成果が上がっている。頭が下がります。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 各学校が開かれた学校経営に努め、それぞれのHPに掲載されているように、保護者・地域に様々な情報発信をしながら、適切な学校評価・学校改善に取り組んでいる。地域住民を外部ボランティアとして招き、地域との交流を進めながら、授業改善にも取り組んでいる。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- より安全で快適な教育環境の確保に向け、先を見据えた様々な整備事業が検討、計画されているとのことである。少しでも早い時期での実施、そして魅力ある事業展開を期待したい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各学校が、当局の支援のもと、地域との交流を通して、また地域から学びつつ、基礎学力の向上や豊かな心の育成に向け、特色ある教育活動を展開しており、大きな成果が上がっている。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 町独自で心理カウンセラーや支援員を配置し教育相談活動や特別支援教育に力を入れた教育施策を展開されるなど、子ども一人ひとりの健やかな成長を目指した教育活動が様々な展開されていて、大きな成果が上がっている。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 栄養教諭による栄養学習が継続して各学校で実施され、各学校それぞれの取り組みも含めて、

食育指導が適切に展開されていてよい。また、食物アレルギーに対する対応など、食の安全に関わる研修会が各学校、また当局主催で行われており、大きな効果を上げている。

事業3-6 教員の資質向上

- 若手教員の急増に伴う教員の資質の向上に向けた取り組みや、国の新しい教育施策に関わる今日的な課題への対応としての授業研究などが求められている。そんな中、当局の支援、指導のもと、学校現場では様々な具体的な対応が確実に行われているのは評価できる。今後もその実践がより一層教育効果の上がるものとなるよう、4校すべての教員が一堂に会して行われている研究協議会の実施も含めて、各学校への指導助言をお願いしたい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 町独自で採用されている講師は、指導主事を中心に研修会も実施され、高い意識・意欲をもって各学校で勤めており、確実に教育効果を上げていると感じている。ただ、まだまだ学ばねばならないことは数多くあるはずである。講師の先生方に限らず若手教員には、各学校に勤務する経験豊かで魅力的な先生方から、多くのことを学んでいってほしいと願います。

事業3-8 校務支援の推進

- 教職員の多忙化の問題は、負担軽減に向けて以前から取り組まれてきたことではあるが、昨今の様々な状況を受けて、国や県からも働き方改革の方針が出され、対応が進められている。これは、教職員が子どもたちと落ち着いて向かい合い、これまで以上に質の高い教育活動を展開できるようにするための対応であると考えられる。そのため、校内体制の見直しは当然のこと、学校内外の様々な環境面においても支援・指導をお願いしたい。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 地域社会や関係機関との連携は、それぞれがもつ教育素材の開発・活用という視点で大きな意味がある。これまでの「子どもは地域で育てよう」という町の気風を繋げつつ発展させ、「地域学校協働活動」を一層推進されたい。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 若者の勤労観・職業観の低下が話題になっている昨今、取り組まれている内容は地域の特色を生かしたものも多く、意義深いものばかりである。イベント的に終わらせない、一層の内容の充実を図りながら進められていくことを期待したい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 小学校英語の教科化に向けた移行期間スタートを控え、当局の支援、指導のもと、着実に研修等の準備が進められて、実践段階に入ってきているとのことである。小中相互の実情把握、相互理解も進めながら、移行期間での取り組みを効果的に進めていただきたい。

事業3-12 情報教育の推進

- 中学校でもタブレットPCが導入され、活用が進められてきているなど、ICT機器・教具の配置とその活用環境の整備のおかげで授業改善が図られ、授業実践にはなくてはならないものになっている。今後も一層効果的なものとなるよう、当局の支援・指導をお願いしたい。

事業3-13 就学援助の充実

- 当局に就学支援担当者が配置されて以来、就学に関する様々な不安、課題を抱える保護者、児童生徒にとって、心強い存在となっている。また、就学支援制度の保護者等への周知が適切に行われており、就学困難者等への援助も適切に行われていて評価できる。

事業3-14 道徳教育の推進

- 地域の多くの人材を活用しながら、豊かな心を育む教育活動がどの学校でも積極的に実践され、確実に成果が上がっている。今後も、一人ひとりの子どもの心に響く取り組みを進めていってほ

しい。教科となった道徳の指導については、その実施状況を随時検証され、適正に実施されていくよう、当局の指導をお願いしたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 体力の低下が危惧される昨今の状況であるが、各学校ともに学校体制として体育的活動、体育的行事を取り入れながら、教育活動が実践されていてよい。部活動については、教育活動の一環として、その教育的意義・効果は大きいと認識しているが、現在の様々な問題点を踏まえ、外部組織、外部指導者の活用も考えながら、適正に実施されるよう、支援・指導をお願いしたい。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 各学校においては日頃の教育相談活動やいじめ不登校対策委員会の開催など、当局においてはスクールカウンセラーの配置や適応指導教室の運営、町いじめ問題等対策委員会の開催などを通して大きな成果を上げており評価したい。今後も、「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」との認識を失わず、実効性のある生きた取り組みを続けていただきたい。

事業3-17 生徒指導の充実

- 様々な問題を抱える児童生徒にとって、学校・学級が「心の居場所」となるような取り組みが進められているのは、大いに評価できる。昨今の社会情勢を見ていると、子どもたちが抱える問題の解決のためには、状況によっては町内関係部局や関係機関とも連携した対応が必要なことが増えてきている。今後とも、一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添うような、心の通う教育活動を展開してほしい。

IV 文化財保護の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 文化財保護審議会を中心に、文化財の保護保存活動や郷土資料の収集・整備が進められており評価できる。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会においては研修会や学習会を開催するなど、精力的に多くの興味深い活動が行われており、大いに評価できる。「とよやま文化財まつふ」を活用しながら、小中学校の教員等が研修する場を設けるのも有意義ではないか。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 郷土資料室では資料収集・整理・展示などが適切に行われており、来場者から好評を得ているのは評価できる。今後、所蔵品の貸し出しや所蔵品を持ち出しての小学校等での出前授業や授業協力などを考えてみるのもよいのではないか。

V 芸術・文化振興の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 公募のサポーターによる興味深い文化振興事業の実施や毎年盛大に行われている文化展・芸能発表会など、大きな成果が上がっており、大いに評価できる。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 豊山町ならではの、伝統ある質の高い文化活動である。今後も継続した支援を是非お願いしたい。また、歴史と伝統を大切にしながらも、多くの住民の意見を集約しながら、時代に即した誰もが参加しやすい、参加したくなる活動となるような工夫改善を進められるとよいのではないか。

2 後藤孝文委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 適正な開催数と丁寧な審議を進めていただいている。また、ホームページにも議事録が直ちに公開されている。
- 引き続き活発な意見交換の場となるよう、努めていただきたい。

II 教育委員の活動状況

- 例年通り、県の市町村教委連合会及び愛日地区、西春地区の教育委員会関係会議、研修等に積極的に参加していただき、他市町村との情報交換、連絡調整等にも努めていただいている。
- 学校訪問や校長との合同会議など、豊山町ならではの現場に即した会議が行われている。今後も積極的に新しい教育、施設等について研修・視察を通して見聞を広めていただきたい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 「生涯学習の基本構想・基本計画（10年計画）」でのテーマならびに基本目標に基づいて計画的に進められ、関連する各審議会ならびに各実施委員会、育成会等もそれぞれの任務を十分に発揮され、生涯学習のまちづくりの計画的な推進にご尽力いただいている。
- 基本構想から8年、後期基本計画から3年目であるので、審議会では次の10年をにらんだ構想を議題として話し合っていたいただきたい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- ニーズに合った生涯学習講座や町民が参画した文化振興事業など、いろいろな工夫を凝らして学ぶ機会の充実に努めていただいている。全町民の多様なニーズを集約・把握し、いかに今後の講座開設や行事計画、施設整備等に生かしていくか、引き続きご努力願いたい。
- 出前講座は町職員だけでなく近隣大学や地元企業との連携により、学ぶ機会の拡充をいっそう努めていただければと思う。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアの活用による「ふれあいひろば」での多世代型体験活動は、地域で子どもを育てる上でもきわめて有効である。ボランティア登録に比較し、活用が進んでいない現状を踏まえ、その成果ややりがいの大きさを積極的にアピールしていただきたい。
- シニア町民等への積極的な声かけ・啓発等によるボランティアの確保、新規サークル活動の発掘・育成が重要な課題になると考える。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 「生きがいタウン」のより広範な配布や町広報の「まなびすと」コーナーでの定期掲載は今後も欠かせない。同時に、町ホームページから「生きがいタウン」や「まなびすと」にたどり着くのが難しいので、分かりやすく提示できる工夫に努めていただきたい。
- 興味深いたくさんの講座が用意されているので、インターネット（PC版及びスマホ版の各ホームページ）やCATVの活用など、今後も様々な方法を使って情報をタイムリーに提供していただくよう期待する。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- それぞれの施設がよく活用され、町民の利便性を考えた運営に向けよく努力されている。
- 社会教育センターでの航空宇宙関連図書コーナーの設置は、まさに本町の特色を生かしたもので、次代を担う子どもたちのためにも有用な整備である。

事業1-6 読書活動の推進

- 社会教育センター図書室はよく利用されており、新1年児童への利用者カード申請書の配布、新刊図書の案内配布、親子読書会・おはなし会の開催等々、地道な取り組みがなされている。絵本読み聞かせは毎月であるが、親子読書会（年4回）おはなし会（年1回）は、よい機会であるので回数をもう少し増やせるものならと思う。
- 小中学校での朝読書を定着させることで読書への啓発を図り、併せて町図書館との連携により、読書幅を増やすことにつなげられるよう期待したい。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 幼児から成年まで、各種のスポーツ教室が工夫され開催されていることはすばらしく、関係者の努力に敬意を表したい。
- 町民主体の運営による町民体育大会は、多くの参加者による豊山町ならではの恒例の行事であり、愛知駅伝やエアポートビューマラソンと共に、今後とも息の長い発展を期待する。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 家族ふれあい事業について、本年度新規の工夫された楽しい企画で参加者も増えた。今後も参加型の事業として継続・発展していただきたい。
- おやじの会や親の会なども含め、小中学校PTAへのいっそうの支援を通して、小中学生を持つ親の家庭教育のさらなる充実を図っていただきたい。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 放課後子ども教室事業の充実した取り組みは素晴らしいと思うが、豊山小学校だけでなく他の小学校にも拡充することをご検討いただきたい。また、生涯学習ボランティアをこういった場でも活躍していただけるのではないかと思う。
- ふれあいひろば事業は17種目に渡る、まさに地域の力を借りた「子どもは地域で育てよう」の言葉通りのすばらしい取り組みであるので、内容の見直しなど一層の充実を図っていただきたい。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 巡回指導は地道であるが、しっかりとした活動が展開されており、青少年の非行・被害防止のため合同街頭指導等に尽力された関係者各位に感謝したい。
- スポーツ少年団は多くの小学生が参加しており、当局の環境づくりや指導者のご尽力に敬意を表したい。子ども会活動は参加者が減少傾向にある中で、中学生のジュニアリーダーの育成が進んでいることは、たいへん喜ばしいことである。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 学校評議員制度を活用し、地域の声を聞いたり学校評価を生かしたりしていただいている。また、各学校とも地域住民の参画した行事も数多く実施されている。
- 昨年文科省は、全ての公立学校がコミュニティ・スクールを目指し、学校運営協議会の設置を努力義務化した。また、新学習指導要領も「社会に開かれた教育課程」と謳われている。今後は

これらの施策をうまく活用して、より地域に開かれた学校経営にあたられることを期待する。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 限りある予算の中で、各学校の老朽化による補修・取り替え・改修等の工事に努めている。今後も、児童生徒の安全・快適な学習環境の確保を第一に、必要な補修工事等を確実に施工していただきたい。
- 建て替え計画については詳細を示すことは難しくても、将来構想も含めた着実な年次整備計画の策定・推進が求められる。特に異常な高温が続く昨今では、早急な空調設備の整備が望まれる。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各学校とも地域住民の積極的な参加のもと、それぞれの工夫と特色を出した学校運営がなされている。「己が学校」という意識で地域住民が献身的に支援していただいているようで感謝したい。
- スキー研修は、豊山町独自のもので夏のキャンプとは一味違う良き思い出づくりと体験の場として充実した研修となっている。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 各学校の年間計画に基づいた保健学習や安心安全講習会、通学路点検など、自らの安全を守るための各種の学習はきわめて有効で、今後とも大切にしたい。
- 町採用の支援員やスクールカウンセラーが配置されており、きめ細やかな相談活動が実施されていることは特筆すべきであり、今後も活躍を期待したい。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 給食センターの運営、食育の講習会、食の安全講習会等、いずれも充実した食育が施されている。とりわけ食育の講習会では、地域の特色を生かした取り組みがなされている。
- 万が一に備え、確実な食物アレルギー対応策がとられていることは、保護者にとって何よりの安心感を与えている。

事業3-6 教員の資質向上

- 各学校がそれぞれの現職教育計画に基づきしっかりとした研修を積み重ねている。また、町独自の夏季研修会では英語教育を取り上げ、全体での研修に加え校内研修でも同じ講師を招へいするなど、内容も工夫があり充実している。
- 今後は、新学習指導要領の実施に向けより具体的な授業研究の機会を持ったり、小中学校が連携し共通の研究内容や授業スタイルを持ったりするなどして、一層の力量向上に期待したい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 経験や職務内容に即した研修、不祥事根絶に向けた研修が着実に行われている。とりわけ少経験者や若手教員の育成は喫緊の課題であり、OJTを取り入れた実効性のある研修を取り入れるなど、関係者のご努力に敬意を表したい。
- 14名の町採用非常勤講師を対象にした定期的な研修会の開催は、現場に即した実践的な研修で、正規教員と遜色ない力を付ける上で有効で大切な企画である。

事業3-8 校務支援の推進

- 各学校とも「C4th会議室」や「定時退校日」「部活なしデー」の設定等、教職員の負担軽減のための様々な工夫や努力がなされている。また、事務処理の一層の効率化・適正化も進められていることは、すばらしいことである。
- 負担の大きい部活動については、外部指導者の導入を含め、部活動の在り方そのものからの議論を進めていただくことを期待する。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 教育活動の一層の充実や児童生徒の安心・安全の確保を図るため、地域の学校支援ボランティアやゲストティーチャーの協力を多々得ている。関係者のご尽力に感謝したい。
- 関係機関との協力により、サポート組織が実効性のある力強いものとなるよう期待している。今後はコミュニティ・スクールとして、さらに組織立った支援ができないか検討していただきたい。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 各小学校とも市場や航空関連など地元の産業を生かした出前講座や体験活動がよくなされており、小学生の目を輝かせる様子が目に浮かぶ。小学校からのキャリア教育の充実に努めている。
- 中学校の職場体験は、今後も地域を挙げて受け入れる体制づくりが進むよう期待している。関係教員の諸準備や受け入れ先の理解と協力に感謝したいが、これらをコーディネートする人材の必要性について検討していただきたい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 本町独自の取り組みとして小学校1年生から英語に親しむ機会を設けているのは、豊かな国際性を育む点においても素晴らしいことである。さらに、英語の教科化や外国語活動が3年生から導入されるなど、ますます充実した実効性のある内容が期待される。
- 小中学校の連携の重要性が今後ますます増してくる。中でも、中学校の英語教諭が小学校の内容を知り、小学校教諭を指導助言することが必要になってくると思われる。

事業3-12 情報教育の推進

- ICT機器の効果的な活用が進められ、情報モラルの取り組みもよく努力されている。タブレットPCの活用も進んでいるが、小学校でのプログラミング教育への対応も今後必要と思われる。
- 保護者も参加の「ケータイ・スマホ安全教室」の開催や保護者向け啓発資料「ネットトラブルから子どもを守るために」の活用等は、児童生徒の安心・安全な生活や生徒指導と直結するだけに、必須の課題できわめて有効である。

事業3-13 就学援助の充実

- 就学困難者への援助や就学援助等、経済的な援助が必要な保護者に対し、適切に行われている。
- 今後も就学支援制度の周知を図り、教育委員会と福祉課、児童課等との連携をよく取り合って適正な就学支援の充実に努めていただきたい。

事業3-14 道徳教育の推進

- 学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動や見守り、本の読み聞かせボランティアによる読書習慣の形成、地域支援ボランティアによる交流活動等々は、地域と共に体験を通して道徳実践力を高め豊かな心の育成にきわめて有効である。
- 「考え議論する道徳」への授業改善に向けての授業研究や、評価について具体的な研修する機会を今後も多く設け、指導力の一層の向上につなげていただきたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 体力向上に向け、各小学校は工夫を凝らした様々な取り組みがなされている。また、中学校運動部活動の活躍も目覚ましいものがある。
- 外部指導者の活用は今後ますますその必要性が高まると思う。しかし、その一方で外部指導者の採用や役割については、勝利至上主義ではなく教師との協力や連携が取れ、教育の一端を担うにふさわしい資質・能力をもった指導者に限るなど、十分な検討が必要と思われる。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 各学校でのいじめ防止基本方針に基づいた対策、町いじめ問題等対策委員会の開催、町適応指導教室の取組等、当局が危機感を持って対策を強力に進められている。

- 不登校児童生徒については、引き続き「まず一人を救う、そして新たな一人をつくらない」の方針の下、きめ細やかな指導を期待する。特に、中学校入学後しばらくたってからの小学校との連絡会等、担任同士など実務を担う者の連携が必要であると思う。

事業3-17 生徒指導の充実

- 各学校での生徒指導や教育相談の充実、関係機関との連携等、組織の総力を挙げてよく行き届いた指導が施されている。先生方に敬意を表したい。
- 日頃の楽しい授業づくりや、一人一人の居場所があり活躍の場のある学級づくりこそが最大の生徒指導であることを、現職教育等を通じてご指導いただけるよう期待する。

IV 文化財保護の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 定例の文化財保護審議会での関連各事業の点検・評価、県・町指定文化財の保護・保存が適切に行われたものと認められる。
- 貴重な県・町指定文化財の保護・保存活動が適切に行われている。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会による「とよやま文化財マップ」の作成・配布や郷土資料室の整理、歴史講座の開催、放課後子ども教室との交流会、現地研修会の開催等々は、本町ならではの特色であり、文化財保護意識醸成の視点からも評価したい。
- 文化財保護の担い手の育成については、既に様々な努力をしておられると思うが、今後ともあらゆる機会をとらえて、町の各世代への啓発や人材発掘に努めたい。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 児童生徒が郷土の文化財資料に触れ、学ぶことは、単なる知識の習得のみにとどまらず、郷土の歴史や先人の営みから自分の住む町への探究心を育み、郷土愛の形成につながるもので、これらの積極的な活用を促したい。
- 企画・特別展や時節パネルの掲示など、魅力ある展示となるよう工夫・努力されている。

V 芸術・文化振興の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- サポーターによる企画・運営で行われた講演会、また、町民が多数参加したサロンコンサートや文化展・芸能発表会と、いずれも盛会で町民が主体となった潤いのあるまちづくりが着実に進んでいる。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 高齢化が進んでいるものの、32団体386名参加の文化振興団体の活動は素晴らしいことである。こういった町民活動こそ文化そのものであり、これまでの当局の強力な支援の賜物であると考えられる。

